

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0810
施設名	中神保育園
施設所在地	東京都昭島市朝日町5-4-17
法人名	社会福祉法人多摩育児会中神保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

いっぱい見よう！集めよう！

<テーマの設定理由>

散歩に行くと必ず出会う「どんぐり」が、園庭では見つからないということに気づき、園内では見つけることが出来ないどんぐりを探しに、近所の熊野神社まで出掛けた。講師に伊東静一氏を招き、自然について話をさせていただく機会を設けた。また、同時に普段園内では「鳩」や「カラス」ばかりを見るが、神社ではどのような鳥がいるかも観察した。

2. 活動スケジュール

- ・ 4 / 5 歳児で熊野神社まで散歩
- ・ 伊東静一氏の話聞きながら、野鳥観察、どんぐりなどの自然物採取

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 伊東静一氏に講師依頼
- ・ 自然物採取用のビニール袋

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・講師の伊東氏と共に熊野神社に散歩に行く。
- ・自然物を採取したり、石同士を当てて音を聞いたり、石と木のどちらが固いかなどを様々な視点から観察する。
- ・「望遠鏡」を見ながら野鳥観察を行う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・「こんなところにもあったよ」と、細い通路や溝の中にあるどんぐりにも気付いていた。
- ・「これは何？」と伊東氏の首から下がった鳥笛に興味を示し、実際に音を聞かせてもらいながら、植物だけでなく動物にも興味を示していた。
- ・「大きい木だね～！」と話しながら、「みんなで手を繋いだら何人分だろうね」と会話が弾み、実際に手を繋いでどれくらいの太さか確かめていた。
- ・望遠鏡を使い、離れた場所にいる鳥の観察も行った。「あれは何？」と友だち同士で話したり、伊東氏に質問をしたりして、興味津々に観察していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段から自然物を収集する事に興味があり、植物を観察したり、「鳥がいる」と会話が盛り上がる姿が見られるが、今回、講師に伊東静一氏を招き、より一層本格的に動植物を観察したり、動植物の名前に興味を持ったり、望遠鏡などの道具を使って観察することで、より一層子どもの興味に寄り添うことが出来た。

今後も子どもたちが発信する興味に合わせて、日常では保育者と共に学び、時には本格的な道具を使って探究活動が出来るように準備していきたい。